

# 診療所での栄養食事指導

石川県栄養士会 医療部会長  
上田 広美

## はじめに

- ▶ 日本糖尿病学会による「糖尿病診療ガイドライン 2016」には、食事療法について食事療法が治療の基本であること、個々人の生活習慣に即した内容にすること、摂取エネルギー量は症例ごとに考慮して決定すること、などと記載されている。しかし、かかりつけ医となる診療所には管理栄養士が在職している例は極めて少なく、食事療法への介入は難しい状態である。管理栄養士はどこまで患者とのかかわりを持つことができるのか。当会は石川県の平成28年度糖尿病重症化予防ネットワーク事業助成を受け、ご協力いただいている3診療所において月1回の栄養食事指導を実施し、その結果と問題点について検討した。

# 方 法

- ▶ 協力いただいている3診療所に月に1回、各1名（計3名）の管理栄養士が出向き、栄養食事指導料を算定せずに患者3～4名の栄養食事指導を行う。
- ▶ 患者の選出は主治医等に委ねる。
- ▶ 栄養食事指導は継続できるように計画し、実施後は指導内容と長期目標・短期目標、指導結果等を報告する。
- ▶ 指導ごとに患者に向けたアンケートを実施し、意識調査とする。
- ▶ 診療所での栄養食事指導実施期間は平成28年9月～平成29年2月とする。

# 指導回数

平成29年2月現在、6回の指導を終了

指導人数27名

男15名、女12名

平均年齢66.2歳

(41~84歳)

指導回数

初回のみ 15名

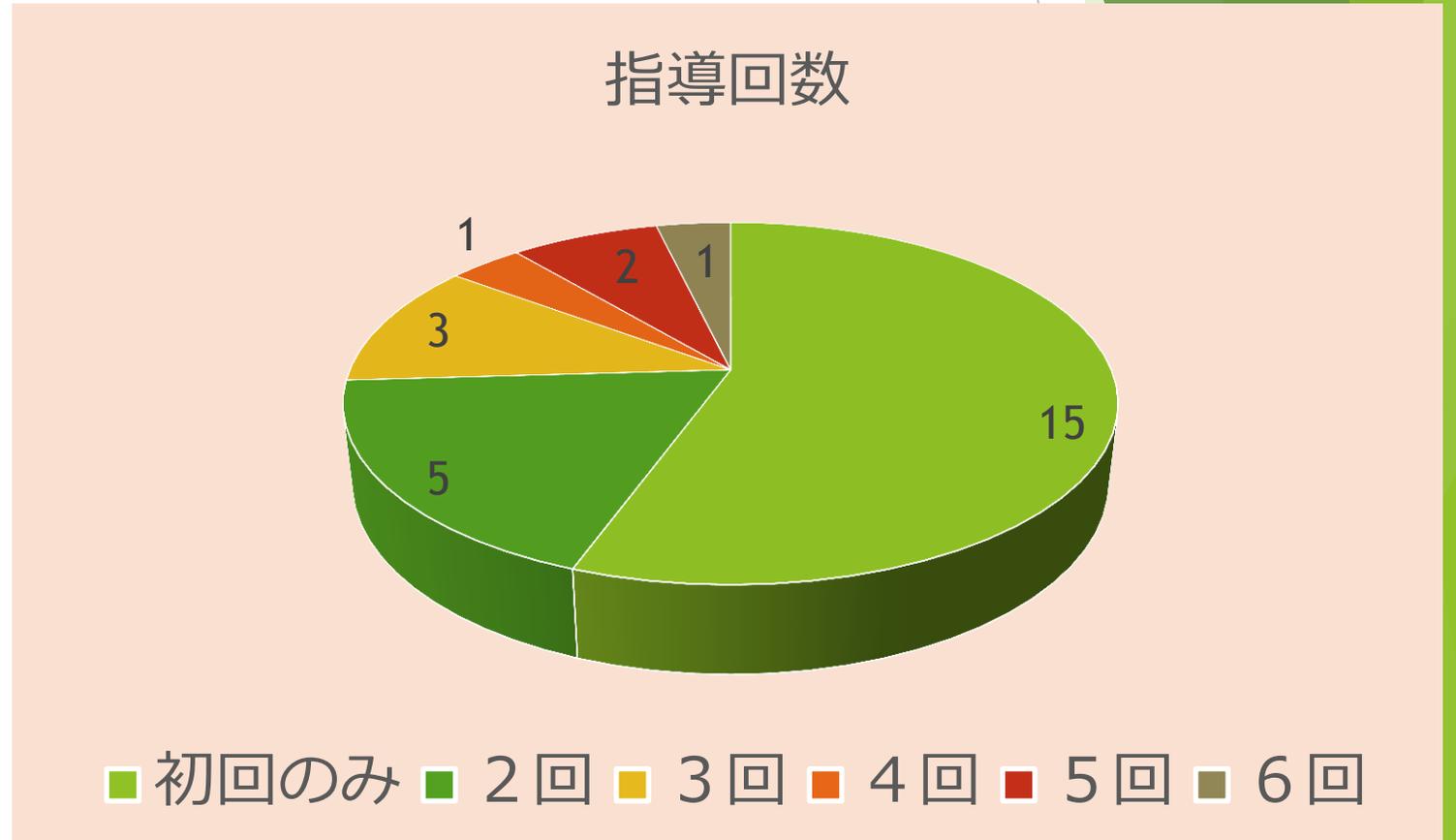
2回継続 5名

3回継続 3名

4回継続 1名

5回継続 2名

6回継続 1名



# 指導内容

- ▶ 初回指導のみ 15名のうち糖尿病 11名、心筋梗塞後 1名、認知症 1名、肥満 1名、胆摘後の腹痛 1名
- ▶ 2回～6回の継続指導は糖尿病であった。（肥満解消も含む）

## 初回アンケート結果

- ▶ 話の内容は分かったか、理解できたか？  
結果 27名すべて「はい」と答えた。
- ▶ 問題点を理解できたか？  
結果 27名すべて「はい」と答えた。
- ▶ 指導を継続したいか？  
結果 初回の15名のうち  
3名（認知症、胆摘後の腹痛、心筋梗塞後のかた）は  
「いいえ」と答えられ1回のみの指導とした。

## 2回目のアンケート（12名）

- ▶ 目標を実行できましたか？

結果 「はい」と答えた方 5名、「いいえ」と答えた方 7名

- ▶ 指導を継続できそうですか？

結果 「はい」と答えた方 12名、「いいえ」と答えた方 0名

## 3回目のアンケート（7名）

- ▶ 目標を実行できましたか？

結果 「はい」と答えた方 3名、「いいえ」と答えた方 4名

- ▶ 指導を継続できそうですか？

結果 「はい」と答えた方 7名、「いいえ」と答えた方 0名

## 4 回目のアンケート（4名）

- ▶ 目標を実行できましたか？

結果 「はい」と答えた方 4名、「いいえ」と答えた方 0名

- ▶ 指導を継続できそうですか？

結果 「はい」と答えた方 4名、「いいえ」と答えた方 0名

## 5 回目のアンケート（2名）

- ▶ 目標を実行できましたか？

結果 「はい」と答えた方 2名、「いいえ」と答えた方 0名

- ▶ 指導を継続できそうですか？

結果 「はい」と答えた方 2名、「いいえ」と答えた方 0名

## 6回目のアンケート（1名）

- ▶ 目標を実行できましたか？

結果 「はい」と答えた方 1名、「いいえ」と答えた方 0名

- ▶ 指導を継続できそうですか？

結果 「はい」と答えた方 1名、「いいえ」と答えた方 0名

# 目標を実行できなかった理由

- ▶ 2回目では
  - 入院したりトラブルがあってできなかった。
  - 難しかった。
  - 欲がかってできなかった。
  - 活動量の低下・理解が不十分。
  - 野菜・枝豆を食事の前に食べるはできたが、  
運動は手術したのでできなかった。
  - トマトジュースは飲めた。
  - 他の目標は1週間で忘れた。
- ▶ 3回目では
  - 風邪をひいて胃腸について全然食べられなかった。
  - ずっと結果が良く、薬も減ったので安心して羽目を外した。

# 結 果

- ▶ BMIの改善が見られた者 3名
- HbA1cに改善が見られた者 2名
- 改善が見られなかった者 4名
- 数字的な改善は見られないが  
意識や行動に変化が見られた者 4名

- ▶ アンケートの結果からは  
2回目、3回目～と指導を継続できた方  
「目標を実行できましたか？」という質問に対して  
「いいえ」⇒「はい」に移行し徐々に行動変容できていた。

## 指導風景



# 考 察

- ▶ 診療所における栄養食事指導は管理栄養士の配置や診療報酬の算定要件などクリアしなければならない課題は多い。
- ▶ かかりつけ医（一番患者の生活に近いところ）で栄養食事指導を継続的に受けることができることは糖尿病重症化予防の一助となると考える。

# 考 察

▶ かかりつけ医に管理栄養士を配置するためには、指導結果を出すことが必須であり、

① 質の担保をどうするか

② 依頼方法の簡便化

③ いしかわ栄養ケアステーションに

登録されている人材の確保

があげられる。

# 考察

- ▶ 患者にとっては支払う金額が高くなる  
栄養食事指導料初回 260点  
2回目以降 200点
- ▶ 診療時間が30分以上延長する

しかし、

費用を出すから一生懸命にもなり、

結果を出そうとするかもしれない。

## ご協力いただいた診療所の皆様へのお願い

- ▶ 今後は受け入れていただいた診療所の先生方にアンケートをお願いしています。
- ▶ 栄養士目線ではない視点で問題点の抽出や効果など検討していきたいと思えます。
- ▶ ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ご清聴 ありがとうございます